

# 事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人ほんじょう寺子屋

事業名	空き店舗を僕らの拠点に 事業						
助成事業の種類	SDGs 推進事業 (豊かさ)						
1. 事業の目的	令和元年5月1日に学生主体のまちづくり団体、ほんじょう寺子屋を設立、令和3年7月26日NPO法人化。 地域にある空き店舗を安価でお借りし、学生達の拠点とすると共に、子ども達が気軽に集える駄菓子屋と子ども食堂の運営を行うことで、空き家問題、地域コミュニティの希薄化、孤食、貧困、居場所等多くの課題解決の一助とする。						
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年増加する空き家対策</li> <li>・子どもの居場所づくり</li> <li>・地域コミュニティの希薄化の解消</li> </ul>						
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	<p>(1) 空き店舗の掃除、駄菓子の棚や暖簾づくり。 令和4年7月3日、参加者を募った結果、児童15名と保護者5名が参加し5名の学生と共に、駄菓子屋の開店準備を行った。主に、駄菓子の棚や暖簾をみんなで作成した他、これまでの寺子屋体験の写真を飾り、3年間の想いを込めて居場所づくりを行った。</p> <p>(2) 夏休みにてらこや(こども)食堂を2回開催。 令和4年8月6日、21日にてらこや(こども)食堂を開催。予想よりも参加者は少なく両日で10名程度の参加だったが、6日は、勉強や食事の他に、翌日の8月7日に開催される七夕まつりの短冊かざりの作成や、まちなかの探索を行った。また、21日は天気もよく暑かったので、水鉄砲で遊び、閑散としていた場所に子ども達の笑顔や笑い声があふれた。</p> <table border="1" data-bbox="472 1789 1326 1939"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>店内改修、清掃 駄菓子屋オープン</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>てらこや(こども)食堂開催(2回)</td> </tr> </tbody> </table>	時期	内容	7月	店内改修、清掃 駄菓子屋オープン	8月	てらこや(こども)食堂開催(2回)
時期	内容						
7月	店内改修、清掃 駄菓子屋オープン						
8月	てらこや(こども)食堂開催(2回)						

	<p>広報実績について</p> <p>今回の事業の募集は、小学校にチラシ等を配布せず公式 LINE に登録している方のみを対象に行った他、コロナ禍であったことや、日程等に制限があったことから、参加人数は予想を下回った。しかし、駄菓子屋づくりの記事を載せてから、Instagram のフォロワーは 50 名程度増えており、当日のブログ記事は 900 近く閲覧された。夏休み中もブログや Instagram を見て来た方も多かった。また、2 回目のてらこや食堂には、埼玉縣信用金庫主催の創業企業セミナーの参加者が視察に訪れ、8 月 24 日の埼玉新聞で記事にされた。他にも SNS で当法人を知り、見学や視察を目的に 10 名以上の方が来店してくれた。</p>
<p>4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駄菓子屋をつくったことにより、参加した児童が友達と訪れ、座敷のスペースでは宿題を行ったり、おしゃべりをしたり学生達と遊んだり、夏休みに友達と行く場所として利用された。</li> <li>・てらこや食堂を開催する他、地域の方々の協力を得てイベントを開催することで、たくさんの子供が集まり、閑散としていた場所が子ども達の笑い声で溢れていた。</li> <li>・ちょっとした買い物等で、子どもがお店で待っていることもあり、保護者の負担軽減に繋がった。</li> </ul>
<p>5. 費用面での工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集に関しては、チラシを作成せずに SNS のみでの募集とした。</li> </ul>
<p>6. 地域社会への還元について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策の一助となった。</li> <li>・子ども達の居場所が増えた。</li> <li>・地域社会との交流を生むことができた。</li> <li>・保護者のちょっとした買い物等の時に子どもは駄菓子屋で遊んでいてもらうことで、共働きに対する保護者の負担の軽減となった。</li> </ul>
<p>7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活動している、団体や個人と連携し、店内の空いているスペースを活用し、定期的にイベントを開催することで、まちにさらに活気をうむ。</li> <li>・空きスペース（12 畳座敷）を活用し、子ども対象の読み聞かせやスライムづくり等のイベントの他、高齢者の方々も利用できるよう、改善することで、地域交流の拠点としていく。</li> <li>・農家や花屋の方と連携し、野菜の販売スペース等を提供し相乗効果を図る。</li> </ul>